

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	交通対策課長 田中 浩史	電話番号	0852-22-5898
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	一畑電車運行維持事業		
目的	(1) 対象	一畑電車を利用する県民等	
	(2) 意図	生活交通機関として、一畑電車の安全運行の維持を図る	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 安全かつ円滑な運行を維持するために、一畑電車に対して、一畑電車沿線地域対策協議会を通じて基盤設備（線路・電路・車両）の維持・修繕・更新費や安全輸送設備等の整備費を助成する。 利用者数の増加を図るため、一畑電車沿線地域対策協議会に対して事業費を負担する。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 一畑電車の年間利用客数	目標値		140.0	140.0	140.0	140.0	万人
		取組目標値						
	式・定義 一畑電車の運行維持に必要な利用客数	実績値	139.7					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	270,238(計画値)	349,907
うち一般財源 (千円)	270,238(計画値)	349,907

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成28年4月に一畑電車沿線地域公共交通網形成計画（以下「網形成計画」という。）を策定し、一畑電車沿線の公共交通利用者の増加を図るための各種施策を実施している。
また、平成28年4月に一畑電車の安全性及び利便性の向上を図るため、老朽化した施設の整備を主体とした一畑電車支援計画（H28～H32）を策定し、実施している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 老朽化していた施設の整備が進み安全性が向上した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 定期券の利用客（定期）は横ばいだが、平成25年度以降、観光等での利用者（定期外）が減少傾向。
 - 老朽化を原因とする車両故障がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 沿線の人口減少、自動車利用の増加などにより、中長期的に利用者が減少傾向である。
 - 老朽化が著しい車両の更新が遅れている。
- ③原因を解消するための「課題」
- 他の地域公共交通機関と連携しながら、自動車を運転できない高齢者や生徒の利用促進を図る。
 - 車両更新に必要な予算を確保していく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 関係機関と協力しながら、網形成計画の各事業を積極的に進めていく。
- 平成32年度までの支援計画が着実に実施されるよう、国への予算要望を実施していく。

9. 追加評価（任意記載）

課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。